

2021年1月22日 核兵器禁止条約が国際法として正式に発効しました

「核の傘」に入るのも国際法違反！

核兵器禁止条約が×にしたことは

開発 実験 製造 備蓄 移譲 使用 使用すると威嚇

▼1月22日の活動は裏面もご覧ください
1月17日予定の「発効おめでとうアクション」は
コロナと雪の関係で春に延期されました。



1/22 昼 エムザ前



1/22 朝 野々市駅前

石川県原水協通信

石川県原水協
〒921-8065
金沢市上荒屋
1-312
TEL 240-7192
2020年1月29日

「核禁条約に日本も参加を」署名

*昨年の平和行進で市町から寄せられた署名数も加えてあります。

自治体	署名数
金沢市	255
小松市	120
加賀市	494
白山市	128
七尾市	491
羽咋市	72
輪島市	13
珠洲市	1
かほく市	17
能美市	198
野々市市	198
川北町	54
津幡町	14
内灘町	4
宝達志水町	110
志賀町	239
中能登町	178
穴水町	148
能登町	173
県外	19
*新婦人	500
*民医連	
コープ石川	
合計	3,425

唯一の戦争被爆国 = 日本の核兵器禁止条約参加は核兵器廃絶に絶大な力！

- ☆被爆者の長年の命がけのたたかいが実ることになる。
- ☆憲法9条を生かす政治への大きな一歩になる。
- ☆国際社会の期待に応え、高い道義的地位と信頼を得ることになる。
- ☆核兵器廃絶への流れに勢いを与え、核保有国に対する大きな政治的圧力となる。
- ☆アメリカの核戦略に組み込まれた日本の安全保障政策を根本から転換

「核兵器禁止条約に日本も参加を」の署名 8月末までにヒバクシャ署名数を超えて総選挙の一大争点に！

菅政権は、通常国会の施政方針演説で核兵器禁止条約に一言もふれず、参院代表質問で参加を問われても「署名する考えはない」と拒否。宣伝・署名で世論を高め、秋の総選挙を“署名・批准する政権”をつくる選挙にしましょう。

2月の「6・9行動」は9日(火)

「核兵器禁止条約に日本も参加を」の署名を集めます。

◆1月6日は8人参加で18筆でした。
2月は9日(火)12時半～13時 エムザ前。
みなさま、ぜひご参加下さい！

北陸原水協学校オンライン 77人参加(石川25人)

禁止条約は圧倒的多数の流れ



- 122カ国の賛成で採択
- 国連、各国政府、被爆者、市民社会の共同
- 2020年「核兵器禁止条約」決議に130カ国賛成

「核兵器禁止条約の意義と今後の課題」と題して日本原水協事務局次長の土田弥生さんがパワーポイントを使って講演。アメリカ・ロシア・中国などの核大国を小さな国々が結束して“手を縛っていく”というのは、時代の進歩を感じる」などの感想も。

核兵器禁止条約 1月22日発効！

核兵器廃絶への“折り返し点”に！



「日本政府に批准を求めましょう」と訴える西本多美子会長

核兵器禁止条約が発効した22日、新日本婦人の会が呼びかけたエムザ前・近江町市場前宣伝署名行動には、7団体・25人が参加し、県被災者友の会の西本多美子会長をはじめ、新婦人の会・反核医師の会・むぎわらぼうし・保険医協会・原水協などがリレートークし、その様子を北陸朝日TVをはじめマスコミ各社が取材・報道しました。署名は30筆寄せられました。

この日は、朝、野々市駅前で日本共産党野々市支部が横断幕を掲げて宣伝し、昼13時から、民医連が呼びかけたいっせいサイレント宣伝に応じて県内各地で街頭アピール活動が展開されました。城北病院近くの大通りには30人が繰り出しての“大”宣伝がとりくまれました。



●名鉄エムザ前の宣伝の様子



城北病院入り口の大通り



野々市駅前

毎日新聞

北陸中日新聞

差別解消条例制定へ
県が修正案 パブコメ発表

「日本も核禁条約批准を」
県内での署名活動

「政府は核禁条約参加を」
県内の被爆者 街頭で訴え

能美市長選
あす告示

上野 元
野々市 元

「日本も核禁条約批准を」
県内での署名活動

「政府は核禁条約参加を」
県内の被爆者 街頭で訴え

差別解消条例制定へ
県が修正案 パブコメ発表

「日本も核禁条約批准を」
県内での署名活動

「政府は核禁条約参加を」
県内の被爆者 街頭で訴え

能美市長選
あす告示

上野 元
野々市 元